

石川県 高次脳機能障害相談・支援センターニュース

平成19年4月15日にセンター開設

平成19年4月15日、石川県リハビリテーションセンター内に、高次脳機能障害相談・支援センターを開設いたしました。

当日は、家族の方々、医療機関、福祉施設、学校関係、行政機関の方々など、約120名の参加がありました。

また、開所式後の記念講演会では、高次脳機能障害実態調査の結果の報告、高次脳機能障害の方々への支援についての講演、家族会の紹介などを行いました。

ご本人やご家族の皆様、関係機関の方々の相談に応じ、高次脳機能障害のある方々が地域で安心して暮らすことのできるように支援していきたいと考えております。



センター事業の紹介

○ 相談

高次脳機能障害に関する医療・福祉サービスの利用、療養や就学、就労などの各種相談に応じます。

電話相談

月～金曜日 9時～17時

土曜日 9時～12時

面接相談（要予約）

月～金曜日 9時～17時

○ 家族教室

高次脳機能障害者のご家族の方を対象に、高次脳機能障害の理解を深めたり、他の家族と交流する教室です。今年度は年3回の企画で行いました。

※ 詳細は次ページ参照

○ 生活支援教室

高次脳機能障害のある方々が集まり、社会参加に向けて必要な事項を身に付ける教室です。

日時：毎週水曜日 10時～15時

場所：ほっとあんしんの家

※ 詳細は次ページ参照

○ 研修等

○ 情報の収集と発信

今年度は、県内医療機関を対象に、高次脳機能障害の診療科やリハビリに関する状況を把握させていただきました。

来年度は、福祉施設を対象とした調査を実施したいと思っております。



相談実績 (12月末現在)

相談件数

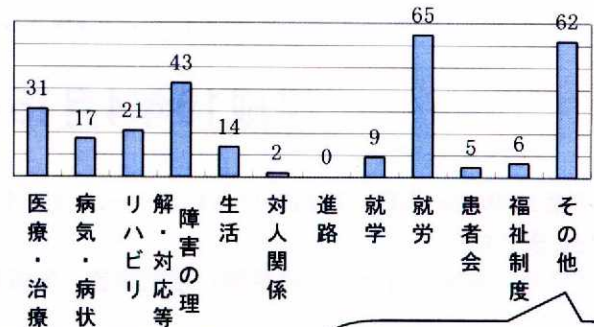
相談方法	延件数
電話	169
面接	51
メール	1
訪問等	14
計	235



相談者(重複あり)

相談者	延件数
本人	58
家族・友人	80
医療機関	34
福祉施設	12
行政	10
患者団体	2
その他	66

相談内容



職場上司や学校の先生が含まれています。

生活支援教室に関するものが多くなっています。

電話での相談が7割以上を占めています。相談者は、家族・友人が最も多く、相談内容は、就労に関する相談が最も多くなっています。

就労に関する相談をきっかけに、職場上司や家族との連絡を密にしながら上司や同僚の理解を得ることや、職場環境を整えること、ご本人にできる作業を探すことなどを行っています。また、障害者職業センターと連携をとりながら就労準備をすすめている方もいます。

小学生の相談では、実際に学校に向いて授業の様子を見せていただいたり、ご両親から家庭での様子を聞かせていただいたりしながら、担任の先生や養護学校の先生方と一緒に、ご本人に合った学習方法を考えたりしています。

家族教室

回	日時	会場	内容	講師
1	H19.9.30(日) 10時~12時	ほっと あんし んの家	高次脳機能 障害につい て	リハビリテーションセンター 医師 岸谷 都 氏
2	H19.11.11(日) 13時~15時半	"	家族の対応 や作業所につ いて	工房 笑い太鼓(豊橋市) 代表 星川 広江 氏 指導員 池田 まさみ 氏
3	H20.2.24(日) 14時~16時	"	社会保障制 度について	リハビリテーションセンター 専門員 津田 百合 氏 金沢市障害福祉課 担当課長補佐 今寺 誠 氏

【笑い太鼓の方々のお話】

高次脳機能障害のある方は、社会で生きていくためのルールを身に付けることが大変重要です。早い段階から支援をしていくことで、ご本人も障害を受容し、社会のルールを身に付けることができます。

また、この障害は発病以前の状態に戻ることは難しいですが、年月が経っていても回復する可能性はあるので、できなくなったことを一つずつできるようにしていく姿勢で、あせらず長い目で接していくことが大切です。

※来年度の内容については、今後計画していきたいと思っております。
ご希望の内容があればぜひご連絡ください。



生活支援教室

高次脳機能障害のある方々が、一人一人に適した社会参加の方法を見つけ実現することを目的に、毎週水曜日の10時から15時まで、リハビリテーションセンター隣のほっとあんしんの家で生活支援教室を開いています。内容は、話し合い、体操、認知機能レクリエーション、社会生活訓練としての外出やパソコン、調理、社会資源の見学などです。これまでに、西部緑地公園への外出や、お好み焼き作り、金沢マップ作り等を実施しました。今後は、就労している当事者との交流会や、作業所の見学などを計画しています。

参加者の声

みんなの話を聞けるのでいい刺激になる。週1回通ってくるのが楽しみです。

自分が障害を持っているということを実感しました。でも、がんばっている人もおり励みになります。

この教室に来るために、日頃の活動を考えています。次は何を話そうか等を考えて生活しています。



金沢マップ作りの様子

利用者同士が楽しいエピソードを紹介しあったり認知機能レクリエーションをしたり、教室は毎回笑いに包まれています。ほっと一息つきにきてみませんか。



ネットワーク会議報告

平成19年12月9日、リハビリテーションセンターにおいて、高次脳機能障害ネットワーク会議を開催いたしました。

前半は、「高次脳機能障害の理解と地域連携について」という内容で、首都大学東京 健康福祉学部大学院の、渡邊修教授から、高次脳機能障害の具体的な症状や診断基準、周囲の対応、地域でのネットワークについて等、図や写真などを交えた非常に分かりやすいご講演をいただきました。

後半は、当センター、医療機関、障害者職業センター、家族会の、それぞれの現状や課題についてのシンポジウムをおこないました。

全体をふまえ、高次脳機能障害はまだまだ理解されていない面も多くありますが、ご本人やご家族が望む生活ができるよう理解を深め、地域でのネットワークを構築し充実させていく必要があるということを再確認した会議となりました。

高次脳機能障害患者と家族の会「つばさの会」の紹介

高次脳機能障害者と家族が集まり、いろんな思いや悩みを話し合う会として、「つばさ」があります。つばさの会の会員さんに、会について紹介をしていただきました。



はじめまして。つばさの会です。平成14年秋、私たちは何組かの家族の方たちとの話し合いを持ちました。お互い分からないことばかりの毎日の中で話をしたのが私たちの会つばさの始まりです。10年以上も悩み続けてきた家族もありました。今でこそ高次脳機能障害という言葉を知りやすくなりましたが、その頃はまだまだ知らない人が多くまるで分からない世界でした。お互いに困ったことなどを話し合いながら、今現在にいたっております。助け合いながら、前に向かって少しずつ進んできました。

現在17家族、賛助会員8名で、パイロットクラブさんの支援もいただいています。月1回の定例会を行い、年間行事として生活訓練合宿、福祉バザー、啓発活動などを行っております。月1回の会報も楽しみの一つです。支援センターもできて、これからもっともっといろんなことができれば嬉しいと思っております。

そして、みんなの目標として作業所を作るという希望をもっています。今は、それに向かって何をしていたらいいのか、みんな考えているところです。時間はかかるかもしれませんが、いつか夢が現実になることを願っております。一度、つばさの会をのぞいてみて下さい。気軽に参加してみてください。気のいい仲間がおります。話してみませんか。

つばさの会の事務局：堂前（あおとりケアサービス内） TEL 076-247-5011

石川県高次脳機能障害相談・支援センターのご案内

〒920-0353 石川県金沢市赤土町ニ13-1
 石川県リハビリテーションセンター内
 （石川県済生会金沢病院となり）
 電話 076-266-2188
 ファックス 076-266-2864
 ホームページ <http://www.pref.ishikawa.jp/koujinou/>

電話相談：月～金曜日 9時～17時
 土曜日 9時～12時
 面接相談：月～金曜日 9時～17時（予約制）

相談担当：北野 浩子 原 早希子 嬉野 聡子

